

ときわの風

■発行：常磐大学同窓会
 ■編集：常磐大学同窓会事務局
 水戸市見和1丁目430-1（常磐大学内）
 電話029-232-2511（代）

WIND OF TOKIWA

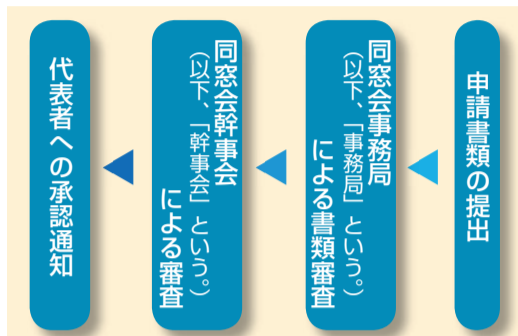
E-mail dosokai@tokiwa.ac.jp

URL http://www.tokiwa.ac.jp/~dosokai/

同窓会支部設立要項決まる！

常磐大学同窓会（以下、「同窓会」という。）設立20周年を記念し、常磐大学同窓会支部細則（以下、「細則」という。）が2007年5月26日の幹事会において承認、制定されました。これに伴い、支部設立申請に関する手続きについてもご案内します。

支部設立承認までの流れ



1. 支部設立の目的

常磐大学同窓会会則第21条に定めるとおり、支部は以下の目的で設立するものです。
 ① 会員相互の親睦を図る。
 ② 本会の活動の活性化を図る。
 ③ 常磐大学の発展に寄与する。

2. 支部設立単位

支部は以下の単位で申請することができます。また支部設立に必要な会員数は、（）内のとおりです。
 ① 都道府県（10名以上）
 ② 卒業年度（20名以上）
 ③ ゼミナール（20名以上）
 ④ サークルその他、幹事会が認めたもの（20名以上）

3. 申請方法

支部の設立申請にあたっては、下記の書類を同窓会事務局宛にご郵送ください。
【申請項目】
 ① 支部設立願 [様式第2号]
 ② 支部員名簿 [様式第3号]
 ③ 支部規程
 ④ 支部事業計画 [様式第4号-1]
 ※ 各様式は、同窓会ホームページよりダウンロードすることができます。
 (URL: <http://www.tokiwa.ac.jp/dosokai/>)

3-1 支部設立願

様式に記載されている以下の事項を必ず記入してください。

3-2 支部員名簿

支部会員の名簿を作成し、提出してください。また支部名簿には、支部長、副支部長等の役員を明らかにしてください。
 なお、支部名簿に記載された個人情報、同窓会活動、支部設立および支部設立後の活動に関する事項に利用するものとします。名簿作成にあたっては、その旨了承を得てください。

3-3 支部規程

支部運営に関する規程を作成していただきます。別紙の規程フォーマットを参考に作成してください。なお、最低限定するべき事項は次のとおりです。

1. 名称	2. 目的
3. 所在地	4. 支部員
5. 変更の届出	6. 役員
7. 事務局	8. 会議
9. 議決数	10. 支部総会
11. 役員会	12. 会務の報告
13. 会計年度	14. 会費※

※年会費等徴収する場合のみ

3-4 支部事業計画

支部設立に当たり、設立年度の事業（支部総会、役員会、懇談会等）に関する計画を記載してください。

4. 経費補助

支部の活動の活性化を図るため、支部設立および運営に際して生じる必要経費に対し、同窓会より5万円を上限とした経費補助を受けることができます。経費補助を受けようとする前年度の12月15日までに、次の書類を事務局に提出しなければなりません。
【経費補助申請書類】
 ① 必要経費申請書 [様式第6号]
 ② 見積書
 ③ その他、幹事会が必要と認める書類。

5. 支部設立後の義務について

支部の設立後は、毎年4月末日までに、次の書類を事務局に提出しなければなりません。
 ① 前年度事業報告書 [様式第4号-2]
 ※ 前年度実施した各事業内容（実施日、参加人数、実施場所など）について具体的に記載してください。
 ② 前年度決算書 [様式第5号-1]
 ※ 前年度予算書を作成していない場合には、事業ごとに予算書、決算書（会計報告等）を作成してください。
 ③ 当年度事業計画書 [様式第4号-3]
 ④ 当年度予算書 [様式第5号-2]
 ⑤ 支部員名簿 [様式第3号]
 ※ 毎年4月1日現在として作成してください。なお作成にあたっては、新入会者・退会者・住所等の変更内容について明確にしてください。
 ⑥ その他、事務局が必要と認める書類。

6. 解散について

①～⑥の各様式について、支部において作成した任意の様式がある場合は、改めて作成する必要はありません。

7. 補助内容

2. 補助金の執行が申請内容と著しく異なると思われる場合
 3. その他、幹事会により返還の必要があると認められる場合

8. 問い合わせ先

常磐大学同窓会事務局
 E-mail: dosokai@tokiwa.ac.jp

「支部設立に関する特別補助について」

常磐大学同窓会（以下、「同窓会」という。）は、設立20周年記念事業の一環として、2007年度から2009年度までの3年間、支部設立に関する特別補助および支援（以下、「補助」という。）を行います。

1. 補助内容

補助は、支部設立支援として、同窓会支部細則第8条に定める経費補助（同窓会支部設立申請要項「4. 経費補助」参照）の他に、3万円を上限とする費用の補助および支部設立に関する業務代行等の支援を行います。

【支部設立に関する支援の例】

- 同窓会の管理する情報媒体（ホームページ、会報「ときわの風」）への支部設立に関する記事掲載
- 案内状送付業務代行（宛名シールの作成・提供、封入作業・発送の代行、返信内容の集計等）
- 通信費の補助（3万円を上限とする）
- 支部設立に伴い、発起人名で実施する新聞広告等の費用の一部負担
- その他、ご相談ください。

2. 申請方法

補助申請に当たっては、様式記20第1号の申請書を同窓会事務局に提出してください。
 なお申請に当たって、次の事項を明記する必要があります。
 ・ 発起人氏名・住所・連絡先
 ・ 問い合わせ先
 ・ 「連絡先」を指定してください。（原則として、発起人が問い合わせ先となります。）
 ・ 支援要望事項
 支援を要請する内容を具体的に記載してください。

3. 案内状送付対象

案内状送付業務代行を申請する場合には、以下の書類を必ず添付してください。
 ・ 案内状送付対象
 ・ どういったグループを対象に案内状を送付するか様式記20第1号「支援要請事項」に明記してください。（すでに名簿がある場合には、名簿を添付してください。）

4. 様式記20第1号別紙「1」

案内状本文を提出してください。なお案内状には、支部設立の目的、同窓会の協力により文書を発送していること、返信期日および問い合わせ先を明記してください。
 ・ 案内状
 ・ 様式記20第1号別紙「2」
 返信用はがき裏面記載文を提出してください。
 ※ 返信先は原則同窓会事務局となります。同窓会事務局にて集計後、発起人へ支部所属希望者に関する情報提供を行います。

5. 各種様式は、同窓会HPよりダウンロードして下さい。



2007年度 体育会活動報告(春季)

硬式野球部

部長：千葉 敦
監督：石川 清一
部員数：52名

関甲新学生野球リーグ戦1部

常磐大学	1-3	白鷗大学
常磐大学	7-3	白鷗大学
常磐大学	1-5	白鷗大学
常磐大学	0-2	平成国際大学
常磐大学	2-0	平成国際大学
常磐大学	4-5	平成国際大学
常磐大学	2-0	作新学院大学
常磐大学	3-3	作新学院大学
常磐大学	3-1	作新学院大学
常磐大学	2-4	上武大学
常磐大学	4-3	上武大学
常磐大学	5-8	上武大学
常磐大学	1-0	山梨学院大学
常磐大学	9-6	山梨学院大学

剣道部

部長：小澤 聡
部員数：31名

1部リーグ7勝6敗1分 3位

全国学生剣道選手権大会

【女子】 原 2回戦進出

第54回関東学生剣道選手権大会

【男子】

飯嶋 2回戦進出
安田 2回戦進出

第40回関東学生剣道選手権大会

【女子】

富島 2回戦進出

弓道部

部長：佐藤 環
部員数：19名

全関東学生弓道選手権大会

【男子個人戦】

菊池 二次進出
中島 二次進出
石井 二次進出
江幡 二次進出

【女子個人戦】

衣笠 三次進出

全関東学生弓道選手権大会団体戦

【男子団体戦・予選】

チーム的中数 10中↓予選敗退

【女子団体戦・予選】

チーム的中数 2中↓予選敗退

【女子個人戦】

衣笠 三次進出

※上記二部以外にも体育会各部活動しています。今後にご期待下さい。

MESSAGE

常磐百年に想う

新年明けましておめでとうございます。同窓会の諸兄弟には、社会の各分野で御活躍の段、誠に頼もしく存じます。私は人間科学部の系賀と申します。日本史を専攻しています。今日、大学は三学部体制となりましたが、学内で出会うことのなかった多くの同窓生も居られます。

私は一九八九(平成元)年二月に本学に着任しましたので本年は二十年目となります。そして、今年には年男でもあり、団塊世代真中もついに快くなる事となりました。幼少の頃、マッカーサーを恐れつつ遊んだ記憶も朧です。

さて、常磐大学もこの一月で開学(一九八三年)以来二十五年目です。キャンパス景観も新たな建物とともにずいぶん変容しました。法人名も「常磐大学」となり、大学院・大学・短期大学・高等学校・幼稚園を経営し、さらにこの四月には「智恵館中等教育学校(中学・高校一貫六年制)」が桜ノ牧グラウンド(小吹町)隣接地に開校します。そして、来たる二〇〇九年には、諸澤みよ先生による裁縫伝習所開設(一九〇九年)以来百年目を迎えます。すでにこの記念すべき時を意識した様々な計画が動き出しています。近々、同窓生の

皆様にも御支援をお願いする手筈です。「百年」とはなかなか大変な歳月です。「長い時の流れ」の意味ですが、この間、人は一代ならず、三代は必須、たとえば「百年論定まる」という如く、ようやく評価が定まる時間なのであります。果たしてこの百年の星霜を経る中で、わが「常磐」はどのような評価を受けているのでしょうか。何とも気になることです。公立学校の百年と私立学校の百年はその存立意義と形態において異なり、皆様の



人間科学部教授
学校法人常磐大学常任理事
(研究教育支援)

系賀 茂男 先生

慶應義塾大学大学院文学研究科史学専攻博士課程単位取得満期退学。文学修士。
専門：日本史(中世史・古文書学)。
歴史学研究会、地方史研究協議会、日本古文書学会会員。

施設紹介

茜梅寮



「茜梅寮」(学生寮)は、学生がより快適にキャンパスライフを送れるよう、「快適・安心・安全」をテーマとして2006年に完成しました。

茜梅寮は、プライバシーに配慮した全個室で、警備会社のセキュリティシステム、寮監の常駐、ICカードキーによる三重の入室チェックによりセキュリティも万全となっています。また全室冷暖房、バス、トイレ、家具、ミニキッチン完備し、光ケ

ブルの「Bフレッツ」にも対応しています。室内は、カードキーにより照明などの電源管理をすることで、外出時の電気の消し忘れ防止をしています。

また食事は、朝夕和洋定食から選ぶことができます。

部屋数：79部屋
寮費：(入寮時) 30,000円
(月額) 60,000円
※月額には、朝・夕の食費および水光熱費を含む
入寮期間：原則1年間
入寮資格：大学・短大の新入生

同窓会長賞制度設立へ向けて

2007年度同窓会総会にて承認された「常磐大学同窓会設立20周年記念事業」のひとつである「在学生表彰(例・同窓会長賞)の創設」については、同窓会事務局と母校との話し合いが進み、今年3月の卒業式には第1回同窓会長賞受賞者が表彰される見通しです。

同窓会長賞は、在学中の諸活動で、顕著な成績や成果を上げたい個人や団体に対して賞を授与することにより、在学生の諸活動の活性化を支援し、本会および本会の活動に対する認知度、理解度の向上を図ることを目的としています。

現在も同窓会長賞制度設立に向け、様々な事項の検討が進められています。次号会報には、同窓会長賞の詳細についてご報告します。

掲載文募集

同窓会事務局では、会報「ときわの風」に掲載する会員の皆さまからの投稿を募集しています。日々の雑感・近況報告などをお寄せください。(編集の都合上800字程度でお願いします。)なお、掲載された方には、薄謝進呈いたします。

【送付先】〒310-8585 常磐大学同窓会事務局 または、osokai@tokiwa.ac.jp

編集後記

新年、あけましておめでとうございます。今年には常磐大学にとって、大きな変化を迎える年になります。その一つとして、人間科学部に健康栄養学科が誕生します。社会でどんどん必要とされる分野だと思えますので、四年後の卒業生の活躍が今から楽しみです。

同窓会活動としては昨年、支部設立のための会則が改正され、細則も整備されました。サークル仲間、ゼミ仲間等ぜひ支部を設立していただきたいと思います。きつと次回同窓会総会・懇談会が待ち遠しくなることでしょう。

同窓会活動がよりいっそう盛り上がるよう頑張りますので、皆様も総会やこの紙面に参加してくださいね。

(飯)